

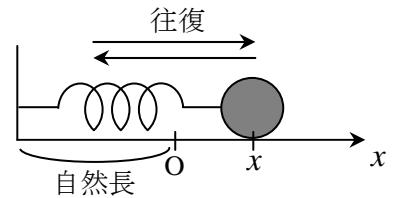
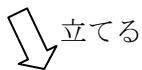
## [第9回目] 運動方程式を解く3: 単振動

《今日の授業の目標》

◎ 弹性力が作用するときの運動方程式とその解

[三角関数, 単振動]

弹性力  $F_x(t) = -kx(t)$  ※  $x$  は自然長からの伸び



運動方程式:  $ma_x(t) = -kx(t) \rightarrow a_x(t) = -\frac{k}{m}x(t)$

$\rightarrow \frac{d^2x(t)}{dt^2} = -\frac{k}{m}x(t) \dots \textcircled{1}$  (2階の微分方程式)

一般解:  $x(t) = A \cos(\omega t + \alpha)$  ※  $\cos$  の () の中身の単位は [rad] (ラジアン)

: 単振動 simple harmonic oscillation

$v_x(t) = \frac{dx(t)}{dt} = -\omega A \sin(\omega t + \alpha)$  (←座標  $x(t)$  を時間で微分して求める)

A : 振幅 [m] (任意定数) amplitude

 $\alpha$  : 初期位相 [rad] (任意定数)

$\omega = \sqrt{\frac{k}{m}}$  : 角振動数 [rad/s]

(←速度  $v_x(t)$  をさらに時間で微分して  
加速度を求め, ①と比較する。)

$$\left. \begin{array}{l} \text{周期: } T = \frac{2\pi}{\omega} [\text{s}] \\ \text{振動数: } f = \frac{1}{T} [\text{Hz}] \end{array} \right\} \begin{array}{l} \text{period} \\ \text{frequency} \end{array}$$

学習到達目標 (5) 単振動の運動方程式を解くことができる。

次回予定 [第10回目] 仕事 (教科書 66~68 ページまで)

\*\*\*\*\*  
レポート問題 第9回目 (右側の半分の解答用紙を切り取って提出しなさい)

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつける! MKS 単位系で答えること!

B\_C... 問1 教科書 53 ページの演習問題 B を答えよ。

B... 問2 教科書 52 ページの演習問題 A (a) (b) を答えよ。

=====

中間テスト直し 12月13日(月) 13:00まで

1月13日(木) 4時限目に補講の予定。

〆切を守って提出したレポートが8回以上ない者は、総合得点から10点減点する。

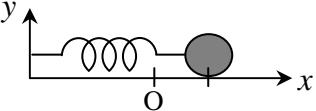
1回目~7回目の未提出のレポートは早急に提出すること。(11回以上提出が必須)

前半の遅れたレポートは今後受け取らない。

解答用紙 (授業 曜 限) 学籍番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつける！指示がない限り MKS 単位系で答えること！

問 1 (a)  $F_x(t) =$ (b) 運動方程式 : ,  $a_x(t) =$ 

(c)

$$x(t) = A \cos([ ] t + \alpha) \text{ [m]}$$

c-1)

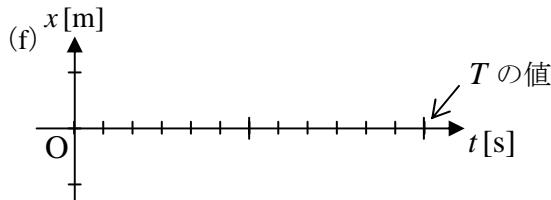
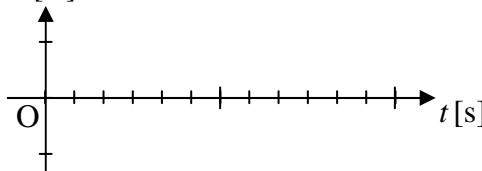
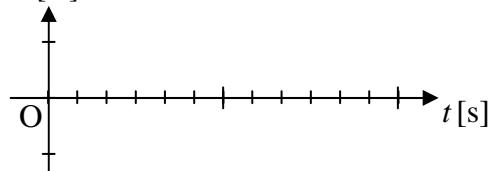
c-2)  $v_x(t) =$ 

(d) 初期条件 : と

$$A \cos \alpha = \quad , \quad A \sin \alpha =$$

d-1)

$$A = \quad , \quad \alpha =$$

d-2)  $x(t) =$ (e)  $\omega =$  [ ] ,  $T =$  [ ]問 2 (a) a-1)  $\theta(t) =$  [ ] , a-2)  $A =$  [ ]a-3)  $\omega =$  [ ] , a-4)  $f =$  [ ] ,a-5)  $T =$  [ ](b) b-1)  $x[m]$ b-2)  $x[m]$ 

☆このレポートをやるのに \_\_\_\_\_ 時間 \_\_\_\_\_ 分,

それ以外に力学 I の予習復習を \_\_\_\_\_ 時間 \_\_\_\_\_ 分した。